

東京都立 白鷗 英語 出題傾向と対策

出題傾向の分析

問題の構成は昨年度とほぼ同じで、リスニングテスト 1 題を含む大問 3 題の出題です。①のリスニングは共通問題と同じです。②は会話文の長文読解問題です。問題構成は適文挿入、単語記述の空所補充、部分英作文、本文内容の言い換え、文整序、内容一致、30 語以上 40 語以内の条件英作文と、幅広く出題されました。本文は比較的読みやすい内容ですが、条件英作文の語数が多めであることや内容が理解できているだけでは解けない問題もある点で、難易度は高いと言えます。③は世界遺産に関する長文の読解問題で、問題構成は本文内容に合うように英文を完成させる記号選択問題が 6 問、グラフの内容について答える問題が 2 問、英問英答が 1 問です。本文内容がやや難しいことや、表の読み取りでは簡単な計算を含めて論理的に答えを導き出さなければならないことなどが、難易度を高めています。

全体的に出題形式が多様で、読解力、文法、テーマに合わせて英語で作文を書く力、論理的思考など総合的な力を問われることが特徴です。

入試までに準備しておくこと

問われている知識は中学の範囲から幅広く出題されているため、教科書よりやや難しいレベルの問題をたくさん解き、慣れておく必要があります。出題傾向は近年大きな変更が見られないため、本校の過去問をしっかり解くことや、同じ形式の問題を解くことが有効です。問題形式のほとんどが会話文や長文形式なので、文を速く正確に読む力がが必要です。資料を含む論説文の長文問題を多く解いておくといでしょう。

英問英答問題は、疑問詞を確認して何を問われているかを把握することと、時制を確認することで正確に答えられる力を付けていく必要があります。

条件英作文はテーマに沿って書きたいことを考えることと、その内容をミス無く英語にすることの 2 つを意識して練習する必要があります。そして書くべきことを、難しい文法や表現を使わずに、基本文法を活用してできる限り簡単な英文で表す練習をすることが大切です。

リスニング問題は、継続的な練習が必要です。過去の問題や英検 3 級程度の聞き取り問題で練習することが効果的です。

英語 分野別出題形式		22年度	21年度	20年度	
リスニング	記号	内容理解(含英問英答)	12	12	12
	記述	英問英答	8	8	8
		和問和答			
小計		20	20	20	
語彙	記号	綴り			
		語形変化			
		発音・アクセント			
小計		0	0	0	
文法	記述	適語(句)選択			
		適語(句)補充			
	記号	語順整序			
		部分英作			
		完全英作			
正誤問題・誤文訂正					
小計		0	0	0	
読解	記号	内容理解(含英問英答)	36	36	28
		内容一致	8	8	8
		段落・文整序	4	4	
		適語(句)・文・節選択	8	8	16
		語順整序			
	記述	その他(文の区切り)			
		内容理解(指示語など)			
		語形変化			
		空所補充	4	4	8
		和文英訳			
		部分英作	4	4	4
		英問英答	4	4	4
		条件英作	12	12	12
		和問和答			
その他(指示語内容説明)					
小計		80	80	80	
合計点		100	100	100	

東京都立 白鷗 国語 出題傾向と対策

出題傾向の分析

大問5題，小問25題の構成でした。□の漢字の読みは小学校～中学校前半，□の漢字の書きは小学校の基本的な語句からの出題です。読みでは「閑寂」というあまり目にしない語句も出題されました。

□の文学的文章では，「真造」，「冴子」，「主人」という複数の登場人物の心情や様子を読み取る設問が多く出題されています。

□の説明的文章でも，例年通り，傍線部の説明や理由を問う問題が出題されています。問4では語彙の力を問う設問が，問5では，文章の内容を踏まえて自分の意見を書く200字の作文が出題されています。

□は古典を含んだ現代文です。2008年度は和歌，09年度も和歌，今年度は古文を含んだ現代文からの出題でした。問1では段落を50字以内に要約する設問や，問4では傍線部の根拠を古文の原文から20字以内で抜き出す設問が出されました。

国語 出題分野一覧表		22年度		21年度		20年度	
		記号	記述	記号	記述	記号	記述
漢字 語彙	漢字の読み取り		10		⑤		10
	漢字の書き取り		10		⑤		10
	四字熟語・語彙						
文法・表現		4	4			8	
敬語							
韻文	俳句(鑑賞文含む)						
	短歌(鑑賞文含む)						
	詩(鑑賞文含む)						
資料を含む文章							
小説	心情を問う設問	20		26点分 出題		12	4
	場面を問う設問					16	
	語句						
	本文の内容を問う設問		7				
論説	語句・接続語	4					
	傍線部の理由を問う設問	5			①	4	
	傍線部の説明を問う設問	5			③	4	
	段落・内容						5
	本文との正誤問題					4	
古文・ 漢文を 題材と した説 明文	古典・語句知識				①	4	
	短文作成						
	傍線部の理由を問う設問		5				
	傍線部の説明を問う設問	10			②	①	12
	対応箇所指摘						5
	本文の内容を問う設問		7				
作文			9		①		10
合計			100		100		100

※21年度は細かい配点が不明のため、丸数字は設問数です。

入試までに準備しておくこと

漢字については小学校の漢字は読み書き全て復習をすることが求められます。また，語彙力については，様々な慣用語，慣用表現をはじめとする語句の意味を理解し，実際に使う力も必要です。

小説的文章については，教科書レベルのものから構わないので，複数の登場人物の心情とその変化を押さえながら読む練習が必要です。また，表現や情景描写から心情を理解したり，心情を説明したりすることも大切です。

説明的文章については，普段から段落ごとの要旨をつかみながら読み進める練習をしましょう。また，筆者の主張を踏まえた記述問題が出題されることも多いので，筆者の主張を明確にとらえるように事前に練習するべきでしょう。

古文を含む現代文では，古文の内容は現代文に書かれている場合が多いですが，基礎的な読解法は身に付けておいたほうがよいでしょう。また，現代文の部分は，年度により評論文，会話文，と種別もさまざまなので，必ず過去5～6年分の過去問を複数回解いて，形式に慣れておく必要があります。

記述問題は3問，20点と配点が大いなので，しっかりとした練習の積み重ねが必要です。小説的文章では文章の内容から心情を説明する練習を，説明的文章では段落の要約をする練習や，文章の要旨を踏まえて自分の意見をまとめる練習をしましょう。

東京都立 白鷗 数学 出題傾向と対策

出題傾向の分析

出題構成は大問4題、うち1題が独立小問集合形式で、総小問数は16題でした。①は因数分解、根号を含む数の計算、連立方程式、関数、確率、円と角度、作図の計7題。角度は定理を知っていれば容易に解けますが、知らないと手がかりがかりました。また、作図は、正方形の角の二等分線を引けばすくのだが、結構、気づかない受験生もいたのではないのでしょうか。②は2つの放物線とグラフ上に点をとってできる図形を扱った問題。問3では、二等辺三角形の辺の長さが等しいことを利用して方程式を立てる問題が出ました。③は平面図形の問題で、図形の計量のなかで性質として利用する三角形の角の二等分線を、順をおって証明していく問題と、それを利用して線分を求める問題。④は、空間図形の問題で、問1は表面積の基本問題。以降は、辺上を移動する点と頂点を結んでできる立体についての出題。立体内の線分を求めるために取り出す平面はみつけやすかったです。また、問2では取り出した平面が正三角形で答えは容易に出せました。問3は、二等辺三角形の底角に当たる頂点から垂線を下ろし、相似を利用する問題。これは、経験がないと処理に時間がかかってしまったことが考えられます。

入試までに準備しておくこと

出題形式や傾向は安定しています。過去問や類似問題で準備をすると良いでしょう。

最近では、他の自校作成入試の出題も傾向・形式が似ていますので、本校の過去問だけでなく、他校の過去問も数多く練習をしておくことがよいでしょう。

また、問題練習をするときには、計算処理能力のみならず、平面図形や空間図形、関数などで方程式を用いる出題がありますので、その問題の解法や手順を組み立てるためにかかった時間までも意識して実施しておきましょう。

領域	内容	配点		
		22年度	21年度	20年度
数と式	数の性質・表現			
	数の計算			
	式の計算		6	6
	平方根	6	6	6
	多項式の乗法			
	因数分解	6	6	6
小計		12	18	18
方程式	1次方程式			
	連立方程式	6	6	6
	2次方程式			
	方程式の応用			
	不等式・不等式の応用			
小計		6	6	6
関数	比例と反比例	6		
	1次関数			
	2次関数			
	変化の割合・変域			
関数と図形	直線と曲線	6	4	
	関数と図形	14	19	20
小計		26	23	20
三角形・四角形	角度		6	
	作図	6	5	6
	合同			8
	相似	6	8	
	三角形	8		
	平行四辺形			
円と平面図形	円周角の定理	6	5	6
	円と弧・弦・接線			
	線分、線分比	6	5	
	面積、面積比			12
	点の移動と図形			
	空間図形	線分、線分比	6	
面積、面積比	6		6	
体積、体積比	6	6	6	
点の移動と図形		12		
回転体、球				
小計		50	47	50
確率	場合の数			
	確率	6	6	6
総合問題	数と式			
	図形			
その他				
小計		6	6	6
合計		100	100	100